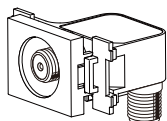


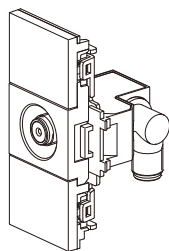
## 取扱説明書

このたびは日本アンテナ製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

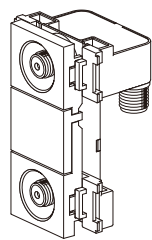
- ご使用前にこの取扱説明書と施工説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



BL7FSE (1)



BL7FE  
BL7FSE (3)



BL77FE  
BL77FSE  
付属品：取付パーツ2個

優良住宅部品

## テレビ共同受信機器 テレビ端子

BL型式	日本アンテナ型名
SH-7F	BL7FE
SH-77F	BL77FE
SH-7FS (1)	BL7FSE (1)
SH-7FS (3)	BL7FSE (3)
SH-77FS	BL77FSE



優良住宅部品 (BL部品) とは一般財団法人ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので、安心してご利用できます。

### 取扱上の注意

取付工事は専門の施工業者にご依頼ください。

### メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

### 性能規格

型名	周波数帯域 (MHz)	インピーダンス (Ω)	挿入損失 (dB以下)		端子間結合損失 (dB以上)		電圧定在波比 (以下)	漏洩電界強度※2 (dBμV/m以下)	寸法 (mm) 高さ×幅×奥行	質量 (g)
			片方向	双方向	片方向	双方向				
1端子型 BL7FE	10~76	75 F型 (C15形)	0.5	-	-	-	2.5	-	69×43.6×36	55
	76~300		0.3	-	-	-	1.6	34		
	300~770		0.5	-	-	-	1.6			
	1000~1489		0.8	-	-	-	1.8	40.2		
	1489~2150		1.0	-	-	-	2.0			
	2150~2681		1.5	-	-	-	2.0			
2681~3224	1.5	-	-	-	2.0					
2端子型 BL77FE	10~76	75 F型 (C15形)	4.5	13	2.5	2.5	-	69×43.6×35.5 (110) ( )内は取付パーツ実装時	90	
	76~300		4.0	20	1.6	1.6	34			
	300~770		4.5	18	1.6	1.6				
	1000~1489		5.0	15	1.8	1.8	40.2			
	1489~2150		6.0	15	2.0	2.0				
	2150~2681		7.0	15	2.0	2.0				
2681~3224	8.0	15	2.5	2.5						

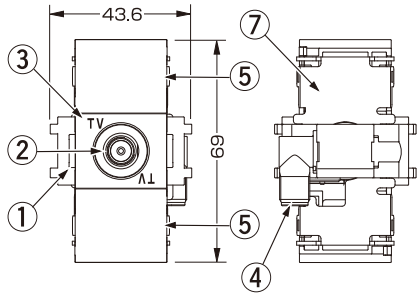
型名	周波数帯域 (MHz)	インピーダンス (Ω)	挿入損失 (dB以下)		端子間結合損失 (dB以上)		電圧定在波比 (以下)		漏洩電界強度※2 (dBμV/m以下)	寸法 (mm) 高さ×幅×奥行	質量 (g)
			片方向	双方向	片方向	双方向	片方向	双方向			
1端子型 BL7FSE (1)	10~55	75 F型 (C15形)	40以上	1.0	-	-	2.0 ※1	2.0	-	29×43.6×32.5	39
	70~300		3.0	1.0	-	-	2.0	2.0	34		
	300~770		2.0	1.0	-	-	2.0	2.0			
	1000~1489		2.5	1.5	-	-	2.0	2.0	40.2		
	1489~2150		3.0	2.0	-	-	2.5	2.5			
	2150~2681		3.5	3.0	-	-	2.5	2.5			
2681~3224	4.5	4.0	-	-	2.5	2.5					
1端子型 BL7FSE (3)	10~55	75 F型 (C15形)	40以上	1.0	-	-	2.0 ※1	2.0	-	69×43.6×36	55
	70~300		3.0	1.0	-	-	2.0	2.0	34		
	300~770		2.0	1.0	-	-	2.0	2.0			
	1000~1489		2.5	1.5	-	-	2.0	2.0	40.2		
	1489~2150		3.0	2.0	-	-	2.5	2.5			
	2150~2681		3.5	3.0	-	-	2.5	2.5			
2681~3224	4.5	4.0	-	-	2.5	2.5					
2端子型 BL77FSE	10~55	75 F型 (C15形)	40以上	5.0	13	13	2.0 ※1	2.0	-	69×43.6×35.5 (110) ( )内は取付パーツ実装時	90
	70~300		7.0	5.0	20	20	2.0	2.0	34		
	300~770		7.0	6.0	18	18	2.0	2.0			
	1000~1489		7.0	7.0	15	15	2.0	2.0	40.2		
	1489~2150		8.0	7.0	15	15	2.5	2.5			
	2150~2681		9.0	9.0	15	15	2.5	2.5			
2681~3224	10.0	10.0	15	15	2.5	2.5					

※1 テレビ端子側は除く

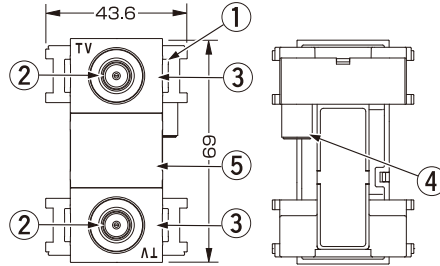
※2 3mの距離において

# 各部の名称と外形寸法

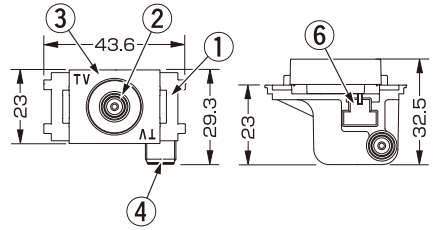
## ●BL7FE・BL7FSE(3)



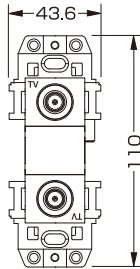
## ●BL77FE・BL77FSE



## ●BL7FSE(1)



取付パーツ  
実装時の寸法

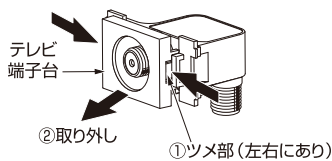


部番	名称
1	ケース
2	TV端子
3	TV端子台
4	入力端子
5	ブラंकパネル
6	双/片方向切換スイッチ
7	フレーム

単位：mm

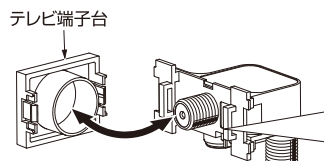
# テレビ端子台の取外しとスイッチの操作方法

## ●BL7FSE(1)

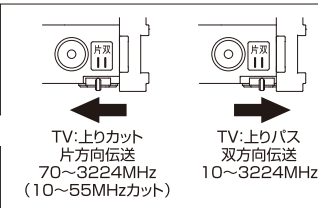


- ①テレビ端子台の両方のツメ部を指でつまみます。
- ②手前に引いて外します。

## ●双方向/片方向切換スイッチの操作方法



- テレビ端子台を本体より取り外し、スイッチ操作をおこなってください。(本体下側からでもスイッチ操作可能です。)



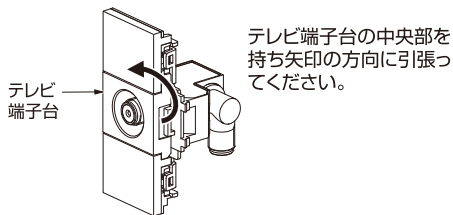
入力端子手前のスライドスイッチを止まるまで確実に操作してください。

工場出荷時は上りカット(片方向)になっています。

### ポイント

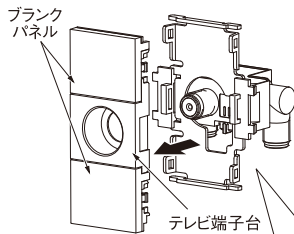
- テレビ端子台は、市販取付枠へ取付け後でも着脱可能です。
- 市販取付枠へ本器が設置されている場合、テレビ端子台を取り外してから、スイッチ操作をおこなってください。

## ●BL7FSE(3)

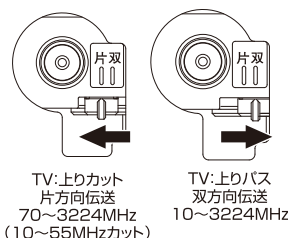


テレビ端子台の中央部を持ち矢印の方向に引張ってください。

## ●双方向/片方向切換スイッチの操作方法



- テレビ端子台を本体より取り外し、スイッチ操作をおこなってください。

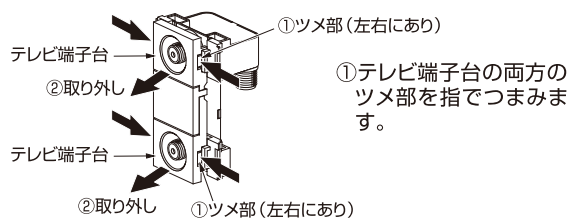


スライドスイッチを止まるまで確実に操作してください。  
工場出荷時は上りカット(片方向)になっています。)

### ポイント

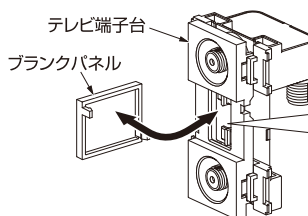
- ブラंकパネルの取り外しは、市販取付枠の取付け前におこなってください。市販取付枠を付けた状態では取り外しできません。
- テレビ端子台は、市販取付枠へ取付け後でも着脱可能です。
- 市販取付枠へ本器が設置されている場合、テレビ端子台を取り外してから、スイッチ操作をおこなってください。

## ●BL77FSE

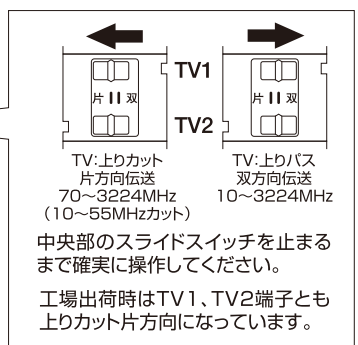


- ①テレビ端子台の両方のツメ部を指でつまみます。

## ●双方向/片方向切換スイッチの操作方法



- テレビ端子台またはブラंकパネルを本体より取り外し、スイッチ操作をおこなってください。



中央部のスライドスイッチを止まるまで確実に操作してください。  
工場出荷時はTV1、TV2端子とも上りカット片方向になっています。

# 施工説明書

## 設置場所・条件

- 不安定な場所、高温(40℃以上)の場所、有毒ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- 本器に同軸ケーブルを取付ける際は、接続端子を間違えないようにご注意ください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

## 使用部品の選択

- アウトレットボックスはJIS C 8340に準じますが、奥行が44mm未満の場合は取付け、配線できないことがあります。本器、ボックス、ケーブルの寸法、設置方法などをあらかじめ考慮したうえでご使用ください。
- TV端子使用時は、F型接栓などを使用して確実に配線してください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。
- 同軸ケーブルはS-5C-FB、S-7C-FBなどJIS規格品を使用してください。
- 接栓は同軸ケーブルに適合したC15形をご使用ください。

- 当社の定める施工説明書を逸脱しない方法で据付工事を行い不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマーク証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- BLマーク証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、万一、当社又は設置工事施工者による瑕疵保証責任等が行えない場合、これに代わる措置が同財団から受けられます。
- BL保険制度については、同財団のホームページ(<http://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は同財団(TEL03-5211-0680)でもお受け致します。

## 製品の保証

この製品の保証期間は、商品お引き渡しの日から5年間です。保証期間内に取扱説明書・施工説明書の記載事項に従った正常な使用状況で故障した場合、ご購入店または「お客様窓口」にお申し付けください。

## 免責事項

下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- ①住宅、事務所、学校、病院、ホテル又は旅館以外で使用した場合の不具合。
- ②ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
- ③メーカーが定める施工説明書等を逸脱した施工に起因する不具合。
- ④メーカーが認めた者以外の者による住宅部品の設置後の移動・分解などに起因する不具合。
- ⑤建築躯体の変形など、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
- ⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
- ⑦ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
- ⑧火災・爆発事故・落雷・地震・噴火・洪水・津波など天変地異または戦争・暴動など破壊行為による不具合。
- ⑨消耗部品の消耗に起因する不具合。
- ⑩電気の供給トラブルなどに起因する不具合。

## 安全上の注意



△記号は注意(注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この製品に通電しないでください。回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。



- 雷が鳴りだしたら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。



### 注意

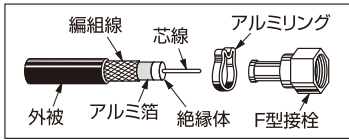
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

# 同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法 (別売品)

## ◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

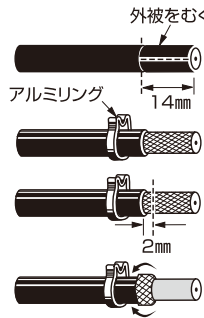
## ■各部の名称



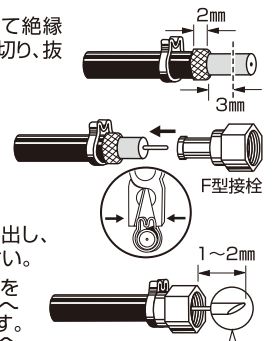
## ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。  
(※同軸ケーブルを交換する場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

- 1 カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)
- 2 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
- 3 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。
- 4 編組線をめくりあげます。



- 5 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。
- 6 F型接栓をアルミ箔と編組線の間にはさみ、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりとつぶしてください。
- 7 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



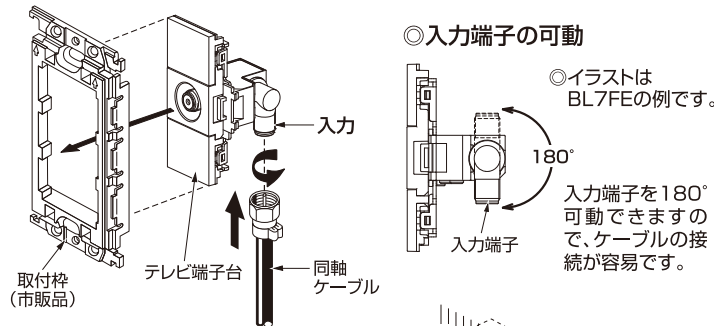
芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

**注意** 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

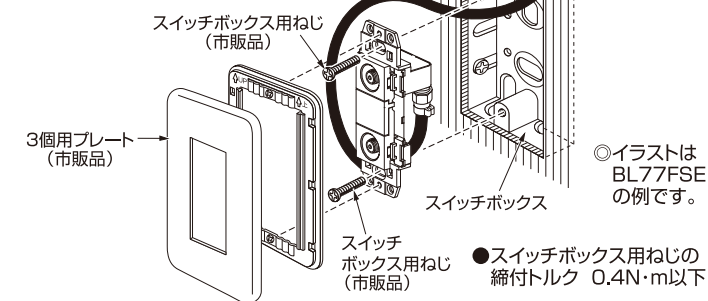
●F型接栓締付トルク 約2.0N・m (約20kgf・cm)

## 取付方法

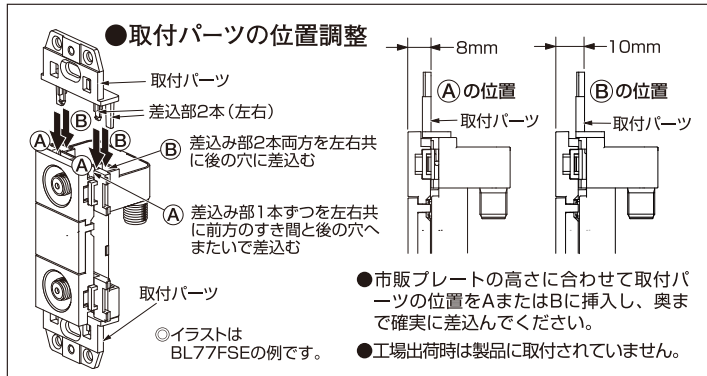
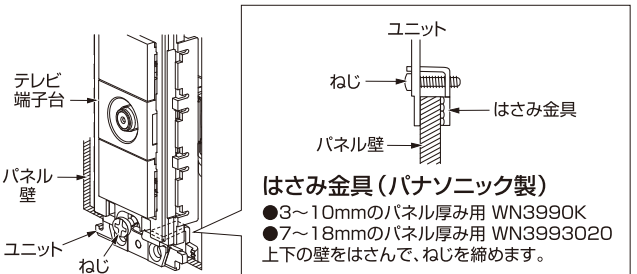
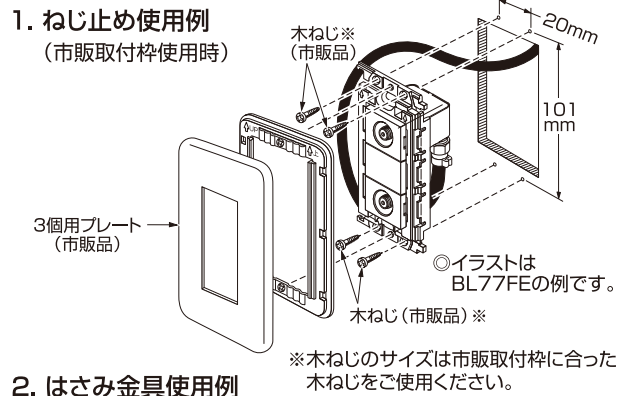
### ●ケーブルの取付・取付枠への取付



### ●スイッチボックスの場合



### ●板壁面埋込の場合



## ポイント

- ボックスはJIS C 8340に準じますが、奥行が44mm未満の場合には取付、配線できないことがあります。本器、ボックス、ケーブルの寸法、設置方法などをあらかじめ考慮したうえでご使用ください。
- 空端子がある場合は、ダミー抵抗をお求めのうえ必ず接続してください。
- TV端子の接続には、F型接栓などを使用して確実に配線してください。
- 4K・8K放送に対応したシステム伝送をおこなう場合、使用機器、同軸ケーブルなどは全て3224MHzまでの周波数帯域で性能が保証されているものをご使用ください。

お客様窓口

0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

**日本アンテナ株式会社**

本社 / 〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎ (03) 3893-5221 (大代)

(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

7112801 平成30年2月